



SERVE TO CHANGE LIVES. 奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために R.I. 会長 シェカール・メータ



第 2610 回例会 No.7

2021年(令和3年)10月29日(金) 晴
 「それでこそロータリー」

出席報告

会員 60 名中 出席 45 名 出席率 75.00%
 ○スピーカー 米山記念奨学委員長 田中 清貴君
 米山記念奨学副委員長 寺本 善雄君

会長挨拶

会長 栢森 雅勝君



お米の話

1. 日本の稲作の起源
 日本では弥生時代に稲作が始まったとされていましたが、今は縄文時代後期までさかのぼるという説もあります。ただし米を食べていたこと、稲作を行っていたこと

は必ずしも一致しないので、まだどちらとも言えない状況だそうです。

従来は朝鮮半島を経由して稲作が伝わったとされてきましたが、米作に注目すると、朝鮮半島は北緯41度付近で大陸とつながっており、当時はその緯度では稲作は不可能。また日本に伝わってきている品種は遺伝子解析から、中国南方の珠江中流域が栽培化の起源地であると考えられることと、逆に朝鮮半島の米には存在しない遺伝子であることから、日本米(ジャポニカ米)は南方から直接伝わったとするのが有力です。

日本国内では、稲作が北へと広がっていき、関東平野に稲作が入ったのが最終で、本州全土に広がるのにおよそ400年かかったとされています。

【中国江南部から直接】

縄文稲作も中国から直接渡来したと考えられ、弥生の稲作も同様と考えられる。また縄文中期(初期?)以降、継続してもたらされたとも考えられ、その中で温帯ジャポニカ・水田耕作も導入されたと考えられる。

【南西諸島経由】

南西諸島には古代における稲作の痕跡は存在しない。南西諸島経由の可能性は低い。



(上右図) RM1-b 遺伝子は中国と日本の稲にあるが朝鮮半島の稲にはない。朝鮮半島を経由せず、中国から直接伝わった可能性が高い。

2. 稲の進化と選別

お米に限らず、農作物は野生種の栽培から始まって、人の手による選別や遺伝子の変異によって種別が分かれていきます。

日本では、最も古くから栽培されたのは熱帯ジャポニカ米で、元々の野生種は色のついた赤米でした。インディカ米(現在の世界の90%以上がこのグループ)は、この熱帯ジャポニカ米と他の野生種が混じって生まれました。その後、紫黒米、もち米が分化し、その後に温帯ジャポニカ米が生まれました。

今日本で栽培されているほとんどのお米は、この温帯ジャポニカ米です。

3. 選別されたインディカ米

もちもちとした食感のジャポニカ米が日本では最初に栽培され、現在もそうですが、水の少ない土地でも栽培できるインディカ米も西日本から九州で栽培されていました。

それは11世紀の中国で大流行したインディカ米が日本に持ち込まれたと考えられています。しかし、日本では古来から作られてきたジャポニカ米とは区別されて、ヒエ・アワなどの穀類と同じような見られ方をしていた可能性があります。

インディカ米はそれから800年近く日本でも栽培されていたとみられますが、現代の日本ではほぼ絶滅しています。

4. 米本位制：米を経済の中心に

戦国時代の終わりは、強い国家の時代の始まりでもありました。中世とは、国家が存在したものの地方の豪族や寺社などが権力を持ち、また座などの商人組合が統制をしていたなど、中央政府の影響力は弱いもので

した。だから、戦国時代の終わりは、既存の勢力を打ち破った強い国家の成立でもあります。

日本では秀吉の刀狩りや太閤検地が行われ、続く江戸幕府では石高制が作られました。これが米本位制として日本経済の基礎となっています。つまり、米が食料だけではなく、米＝経済的な豊かさとなったのです。だから江戸時代を通じて、日本全国で治水工事によって水源を整備し、灌漑を押し進めて水田が拡大しました。日本の原風景にある水田は、江戸時代の影響と言えます。

※反面、江戸時代に何度も起きた大飢饉は、行き過ぎた稲作社会の反映であったかもしれない。

・すしの始まり

今、寿司と言えば江戸前寿司のことで、赤酢を混ぜた今のおにぎり大のご飯の上にコハダやクルマエビ、赤貝など下処理をしたタネ(具材)を載せたものだが、それ以前の寿司は「なれずし」だったと言われ、乳酸菌によって発酵させた魚を載せたものであった。つまり元々はお米を作るための水田と、水田回りで獲れる淡水魚を組み合わせた、それこそ水田が発達した環境で生まれた食品であった。

・お月見とススキ

秋に十五夜の月見をするのは、平安時代に中国より伝わり貴族の行事として催されたそうですが、一般的になったのは江戸時代以降だそうです。ススキを飾るのは、稲の穂の代わりとする説と神様の依り代や魔除けであった説があります。米粉の団子は、収穫期であることから去年の残りの米を使ったという話と割れ米を集めて利用したという話があります。いずれにしてもお米づくりと縁の深い行事となっています。

【日本古来の発酵ずし】

1200年以上の歴史を持つ日本のおすし。その最も古いかたちは、酢は使わない、そしてご飯は食わずに、発酵のために使うもの。ご飯を発酵させ、酸っぱくする保存食・発酵ずしでした。



発酵ずしの起源は東南アジアでの魚、肉の保存食に由来します。今、皆さんがイメージされるおすしとは違って、漬物にも似ています。滋賀県の鮒ずしの由来でもあります。魚を米飯と塩で発酵させた食べ物を「熟(な)れずし」と呼び、奈良時代の高貴な方々の食べ物として定着していました。



ニコBOX

(最近、コロナも落ち着いているので、少しずつ戻して行こうかと考えています。皆様よろしくお願ひします)

栢森会長

(寺本君、田中君、本日卓話よろしくお願ひします)

岡田幹事

(お花ありがとうございました)

山田(章)君

(入会以来、初の早退いたします)

棚橋君

(昨日まで神有月の島根県に帰省し、昨日出雲大社へ参拝し様々な良縁を祈願してまいりました。そして、11月27日ガイシホールより始動する白スーツの矢沢B吉でコロナを吹き飛ばします)

藤原君

(市野君、中井君、昨日はありがとうございました)

加藤(昌)君

本日合計	17,000円
累計	633,000円

幹事報告

岡田 雅君

①11月6日、7日と地区大会が開催されます。当日は、皆様にお渡ししました名札をお忘れなくお持ちいただくようお願ひします。みなとロータリーは全員登録していますので、ご参加の程よろしくお願ひします。

②家庭集会に関してですが、第6波を考慮し、もうしばらく延期させていただき、来年より再開する予定です。

卓話「アメリカンブルースと3大キング」

米山記念奨学委員長 田中 清貴君



本日は私が若い頃、夢中になって聴いていたアメリカンブルースのお話をさせて頂きます。
最初に私がブルースと出会ったのは高校3年(1967年)の頃、世界で大ヒットした「マサチューセッツ」という曲をアメリカのビーギーズという

ポップスグループが歌っていましたが、日本でも流行し私も大変好きな曲でした。

私が音楽雑誌(ミュージックライフ)を買ってビーギーズのことについて読んでみると、リーダーのギブ兄弟が好きなバンドとして「クリーム」が挙げられていました。「クリーム」とは現在伝説のバンドと言われているエリック・クラプトン、ジャック・ブルース、ジンジャー・ベーカーの3人組のハードロックのバンドです。中でもエリック・クラプトンはギターの神様と言われるほど有名なアーティストで、その音色は重く突き刺さり、迫りに興奮していました。今度はクラプトンの好きなアーティストを調べてみると、BBキング、アルバートキング、フレディキングの3大キングと書かれていたのです。

すぐにレコードを買って聴いてみると、黒人特有の心に刺さる魂の叫び、シンプルだけど重いギターの音色とそのアドリブに感激しました。これが私とブルースとの最初の出会いです。

アメリカ発祥のブルースは20世紀以降のポピュラー音楽、ジャズやロックのルーツとして大きな影響を与えていますが、一般的に黒人音楽は19世紀末に黒人の労働歌から生まれ、ミシシッピデルタ地帯で生まれたのはブルース、ニューオーリンズで発祥はジャズ、少し遅れてアメリカ南部のキリスト教会から生まれたのはゴスペルと言われています。

ブルースは1903年、W.C.ハンディーという黒人作曲家がミシシッピの駅で、ブルースの演奏を聞いたという記録が、ブルースの起源として認識されています。孤独感や悲しみを表現する歌であり、ブルースの語源は悲しみや孤独の感情が英語ではしばしば「ブルー(blue)」の色でたとえられることに由来しています。

ミシシッピデルタの田舎町でギターの弾き語りで演奏されるブルースはその後メンフィスに渡り、シカゴに渡ってオーケストラを携えて現在の形のモダンブルースになりました。

ブルースミュージシャンは多数いますが、有名なのはロバートジョンソン、エルモアジェイムス、ライトニンホプキンス、Tボーンウォーカー、ハウリンウルフ、マディウオーターズなど多数いますが、特に有名な3大キングがいます。

多くのミュージシャンに影響を与え、私が大好きな3大キングを順に紹介いたします。

一人目は、BBキング。

B.B.キング(1925年~2015年、90歳没)ミシシッピ州で生まれます。

幼い頃から教会でゴスペルに触れ、ギターを教わりながらストリートで演奏、その後ラジオのDJとして徐々に動き出します。

そして、1951年には、シングル「THREE O'CLOCK BLUES」がヒット。ここから、数々の曲をヒットさせ、ブルース界はもちろん、世界的にも有名なスターとなります。

共演者は多くU2、エリック・クラプトン、スティーヴィー・ワンダーなど、またオペラ歌手のパヴァロッティとも共演し、BBはブルース以外のミュージシャンとの共演が多く、いかにB.B.キングが愛されていたかが分かります。

また1970年にはブルースミュージシャンとしては初のグラミー賞を「Thrill is gone」という曲で受賞しました。

初来日は1974年、名古屋では中日劇場でコンサートが開催され私は最前列で聴き、その歌とギターに飛び上がって感動しました。



B.B.キング

次にご紹介するのは「アルバートキング(1923年~1992年、69歳没)です。

ミシシッピ生まれ、1966年当時オーティスレディングやサムアンドデイズで有名なスタックス・レコードと契約し、そのスタイルが確立しました。

そのスモーキーでダークな歌声とギタースタイルは大変個性的です。彼は左利きですが、通常の右利き用のギターを逆さに持って弾いています。弦の張り方も非常に緩く、あのグイーンというチョーキングが生まれました。



アルバートキング

3人目はフレディキング（1934年～1976年、42歳没）のご紹介です。

テキサスで生まれ、BBより9歳年下です。

1950年にマディウオーターズやハウリンウルフなどが活躍していたシカゴに移住し、当時脂が乗り切ったBBキングの影響も受けました。

彼のサウンドは泥臭く、パワフルで熱く、野性味あふれるギターサウンドです。

今ご紹介したスリーキングが後世のロックやポップスに大きな影響を与え、今もなお世界のミュージシャンから愛されています。



フレディキング

以上が「アメリカンブルースと3大キング」ですが、一方、日本にも有名なブルースミュージシャン「近藤房之助」がいます。

近藤房之助は1951年愛知県で生まれ、1973年千種区今池の「オープンハウス」というライブハウスでウエイターとして働いていましたが、週末になるとライブをやり、私も当時一緒に演奏していましたが、数年後、彼が東京に行ったという噂を聞き心配しておりましたところ、ある日突然テレビのアニメの主題曲「おどるポンポコリン」をBBクィーンズとして出演していたのを見て驚きました。



近藤房之助

以上、アメリカのポップス、ロック、ジャズ、R&B また日本のロックミュージックにも大きな影響を与えたブルース、特にスリーキングをご紹介させて頂きました。また機会があればぜひお聴きください。ご清聴ありがとうございました。

卓話「地震発生 その時どうする」

米山記念奨学副委員長

寺本 善雄君



「ロータリーの危機管理」について

私、地区の「危機管理委員会」に出向しておりますが、その活動の内容について皆さんあまりご存じないと思いますので、今日はその内容についてお話をさせていただきます。

ロータリーでは「危機」を、「ロータリークラブ、ロータリアンにとって、『好ましくないことのすべて』」と定義しております。

しかし、これではあまりにも範囲が広すぎて、具体的に何をしたら良いのということになってしまいます。少しロータリーの危機管理の歴史を振り返ります。

2004年ロータリーの大阪世界大会で、ある国のパストガバナーがセクハラ事件を起こし逮捕され、巨額の賠償請求をされたとの話が出て、大問題になりました。これに対してRIは、虐待及びハラスメントから青少年交換学生を守るために、2006年、「青少年保護規定」を発表し、各地区に「危機管理委員会」の設置を義務付けました。これが、ロータリーの危機管理委員会の始まりです。

その後2016年には、ロータリーのプログラムであるIA、RA、RYLAに、2019年には、地区やクラブが実施する全ての青少年奉仕プログラムにまでその範囲を広げております。

そして、同じく2019年には、RI理事会は「成人ハラスメントポリシー」を発表し、「ロータリーの会合、行事、活動においてハラスメントのない環境の維持」を各クラブに強く求めています。現在、RIはハラスメントに対して、我々が感じる以上に敏感になっています。

この様に、ロータリーの危機管理は、最初は青少年交換学生を守ることから始まり、今では全てのロータリアンにまでその対象範囲を広げていますが、当地区の危機管理委員会は現在のところ、ロータリーの実施する事業に参加するすべての青少年を守ることに主眼を置いて活動しております。

2020年、RIは「地区危機管理計画」の策定を推奨しました。この「危機管理計画」とは、緊急事態が発生した際に適切に対処できるよう一連の手順をまとめたもので、この策定を現在中止されている青少年交換再開の条件としております。

前年度、地区危機管理委員会では、RIの要請を受けて、「危機管理の指針」をまとめました。危機発生時の行動指針として、a「事故」、b「感染症」、c「災害」、d「虐待およびハラスメント」、e「犯罪による被害および加害」の5つの項目で危機発生時の基本的対応手順を決めております。

決めごとを作りましても、実際の危機に際して適切に対応するには、危機の内容を想定した事前のシミュレーションや訓練が大変重要になります。

現在、南海トラフ地震は今後 30 年以内に 70%の確率で起きると言われております。

今年 9 月 21 日に実施した危機管理セミナーは、ズームによるリモートで開催しましたが、「あるロータリークラブが、知多半島の海岸で小学生を連れて青少年奉仕事業を実施したところ、南海トラフ地震が発生した」という紙芝居のドラマを見ていただきました。

その後、7つのグループに分かれて、私たちはこのような事態を想定して何を準備しておかねばならないか、またどう対応しなければならないかを討論していただきました。

今日は、その紙芝居を見ていただきたいと思います。時間は約 6 分です。

地震発生 その時どうする！

紙芝居

作 RI2760地区危機管理委員会

画 名古屋芸術大学RAクラブ



これは、台本は危機管理委員会で書いて、画は名古屋芸術大学ローターアクトクラブに協力をいただき、作りました。

今後、地震発生を想定しての事前準備チェックリストを作っていきたいと考えております。

ご清聴、ありがとうございました。

月	日	今後の例会予定
11	5	例会変更 地区大会 11/6 (土) 第1日目 11/7 (日) 第2日目 (本会議)
	12	港友例会 17F「コスモス」
	19	卓話 17F「コスモス」
	26	休会
12	3	年次総会 第2回クラブフォーラム 17F「コスモス」
	10	卓話 17F「コスモス」
	17	休会
	24	例会変更 忘年家族会 16F「アイリス」